

# 「ICT地域活性化大賞2017」表彰結果

別紙2

上段は取組名称、【 】は実施主体、〈 〉は主な提供地域

大賞/総務大臣賞	ICTを活用した市民協働で多様な子育てニーズと地域人材活用を両立 【株式会社AsMama(本社:神奈川県横浜市)】〈奈良県生駒市、秋田県湯沢市 他〉
優秀賞	ひぐまっぷ:ICTを活用したヒグマ出没情報収集と共有の取り組み 【森のくまさんズ】〈北海道森町 他〉
優秀賞	ICTクラウド活用で急性心筋梗塞などの救命率をUP! 【福井大学医学部附属病院、金沢大学附属病院救命センター】〈福井県・石川県〉
優秀賞	ICT活用による新しい地域モビリティ 【北海道天塩町】〈北海道天塩町〉
優秀賞	日本の川・地方を豊かにする遊漁券オンライン販売システム:フィッシュパス 【株式会社フィッシュパス(本社:福井県福井市)】〈福井県福井市 他〉
行政効率化賞	ICTを活用したペーパーレス化から働き方改革への取り組み 【愛媛県西予市】〈愛媛県西予市〉
奨励賞	LINEを活用した“One to One”の情報配信 【福岡県福岡市、LINE株式会社、電通アイソバー株式会社】〈福岡県福岡市〉
奨励賞	地域連携型駐車場シェアによる観光課題の解決 【軒先株式会社(本社:東京都千代田区)】〈福島県喜多方市 他〉
奨励賞	ICT人材育成と創業支援による地域活性化 【沖縄県沖縄市、スタートアップコンソーシアム沖縄】〈沖縄県沖縄市〉
奨励賞	福島復興を牽引する地元中小建設企業のICT活用 【庄司建設工業・滝建設工業特定建設工事共同企業体(福島県南相馬市)】〈福島県南相馬市〉
奨励賞	ICTを活用したマンゴーの安定生産と栽培促進 【沖縄セルラー電話株式会社(本社:沖縄県那覇市)】〈沖縄県宮古島市〉
奨励賞	AIを活用したチャットボット「イーオのごみ分別案内」 【神奈川県横浜市、株式会社NTTドコモ】〈神奈川県横浜市〉

# ICTを活用した市民協働で多様な子育てニーズと地域人材活用を両立

(奈良県生駒市、秋田県湯沢市他、各地の地域団体や有志者 × 株式会社AsMama)

大賞/総務大臣賞

## 世界初、共助型子育て支援プラットフォーム「子育てシェア」

### 地域課題

- ・少子化・高齢化による人口減少と労働力不足
- ・人不足、財政不足、土地不足による保育不足
- ・子育てニーズ・スタイルの多様化
- ・子育てを理由に離職し、働けない人300万人
- ・核家族化による地域コミュニティの希薄化
- ・60歳以上の9割が「働きたい」

(例)生駒市:「公共施設から街コミュニティを拡げる」  
湯沢市:「年間出生数300人を市民で育てる」

年間・全国2000回  
リアルの交流会を支援



経済負担・心理負担ゼロ  
友達と繋がるネットの仕組み



リアルとICT活用の両輪で、地域人財の活躍支援と子育て共助の仕組み「子育てシェア(登録料・手数料無料・保険付・1時間500円のお礼ルール)」を全国に普及させ、社会課題解決と地域活性を両立させている。

## 市民協働による自立自走する生活・子育てシェアと地域コミュニティを実現

### 【施策の定量的な効果】

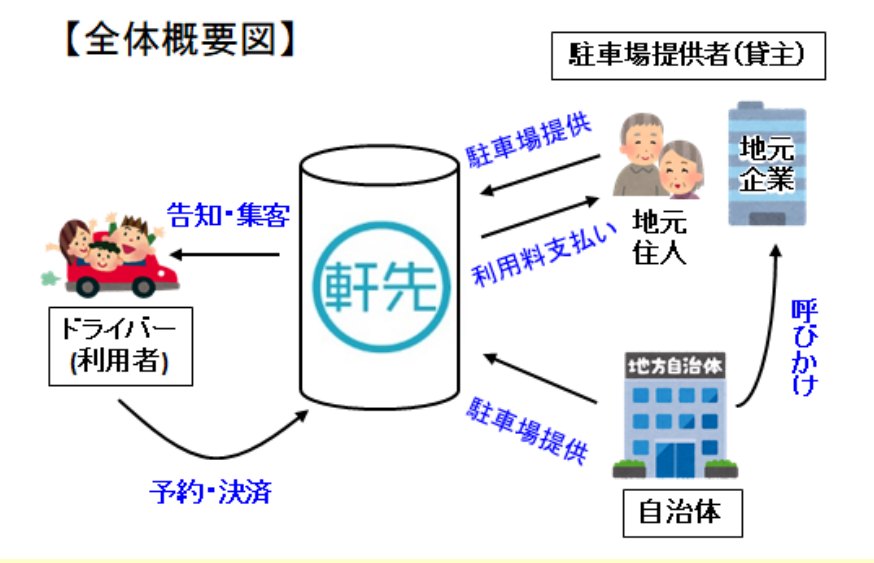
- ・主体的に子育てシェアの普及、地域コミュニティ創出に取り組む認定活動家が全国に627名。
- ・年間の親子交流の場創りを各地の市民団体や自治体と連携しコミュニティの自走に取り組む。
- ・ICTを活用した子育て共助「子育てシェア」登録53,000人。市民間共助での問題解決率85%。
- ・初回子育てシェア利用者アンケート:「また利用したい」が91%。
- ・複数回子育てシェア利用者アンケート:「就職・転職できた」が44%。「残業・休日などの仕事を確保できた」が33%。「自分の時間が持てた」が22%。

## 駐車場シェアリングサービス(ICT)を活用し、エリア内の新たな導線設計を実現 (イベントや行楽シーズン時の駐車場不足・違法駐車解消にむけて)

- 【自治体におけるイベント時期の課題】
- ・県内、市内観光客の一時的な増加
  - ・期間中の慢性的な駐車場不足(時間貸し駐車場は駅前のみetc)
  - ・一方で空き地など未使用地が多く、需給ミスマッチが起こっている
  - ・駐車場が無い場合、やむなく違法駐車する(利用者)

↓ 駐車場シェアリングサービス(ICT)を導入!

- ・導入コスト**ゼロ**、ランニングコスト**ゼロ**
- ・コインパーキングなど**増設初期コストの抑制**(平均300万円)
- ・**個人宅**の遊休ガレージや**法人**の従業員用駐車場の未使用日(土日祭日)の有効活用
- ・**予約制**のため、駐車場を探し回ることなく、**環境にも配慮**



## 地域の駐車場不足を解消し、渋滞・不正駐車軽減に寄与。観光課題を解決。



高尾山紅葉シーズンに向けた取組。八王子市の施策に協力し首都大学東京観光科学域・地元町会で実施。**75台分**を予約制にし、駐車場探しによる減速運転渋滞を緩和(東京都八王子市)



毎年30万人が訪れるしだれ桜花見シーズンに向けた取組。地元企業の協力もあり、**182台分**の駐車場確保し、駐車場不足に対応。(福島県喜多方市)



シェアリングシティ宣言都市島原市の花火大会。大会用に**38台**の駐車場確保。近隣に時間貸し駐車場がないため、来場者の利便性向上に貢献。(長崎県島原市)



後援:札幌市  
地元NPO法人運営の花火大会。地元企業よりスペースの無償提供あり。売上は運営費へ。**計260台分**の駐車場確保。(NPO法人、札幌市)



アビスパ福岡ホームスタジアム市営臨時駐車場へ予約制を実験的に導入。**650台分**を予約制にすることで入庫時の周辺道路混雑軽減に貢献。(Jリーグ、福岡市)



## 「いつでも、気軽に、わかりやすく」 AIを活用した地域課題解決

## 横浜市の課題

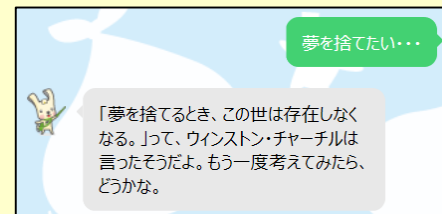
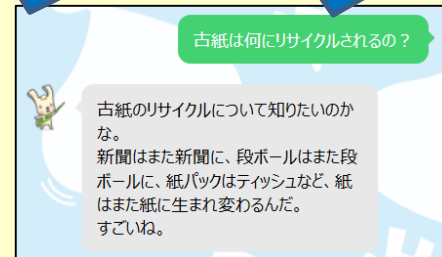
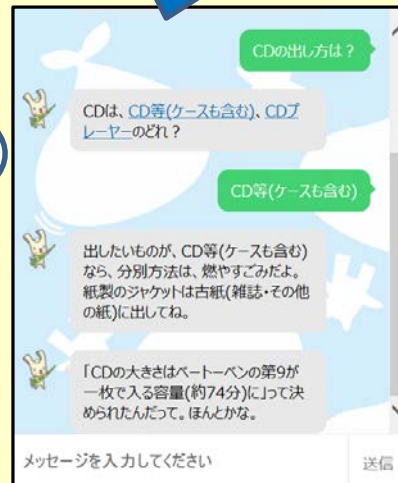
- ・本来分別すべき資源物が15%混入
- ・ライフスタイルの多様化(共働き、子育てetc)
- ・年間14万人の転入者  
→不適正排出が地域課題に

メディア掲載多数

「行政のデータ」×「民間企業のAI技術」  
で新サービスを開始

- ・会話形式で使いやすい
- ・365日24時間利用可能
- ・雑学なども案内することで、ごみ分別に親しみが持てる

AIを活用

2万語  
に対応24時間365日  
会話で回答

AIが様々な回答！ 心理的負担を軽減 “ごみ分別は負担だから”少し面白い”に！

## 実績・効果

10か月で203万件の利用、30以上のメディア掲載  
コールセンター営業時間外の利用数が5割  
コールセンターに比べ数百分の1のランニングコスト

→費用を抑えて市民サービスは向上、  
人的コストの負担軽減。  
共働きや子育て世帯など様々な  
ライフスタイルなどにも対応。

## 発展・将来

- ・AIスピーカーや画像認識機能と連携し  
利便性向上、バリアフリーに
- ・ごみ全般や行政の様々な問い合わせに
- ・申し込みや申請書の作成も
- ・必要な情報を行政から発信

→様々な分野で応用可能  
すべてのまちで、より便利に